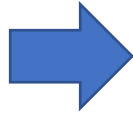


◇ 謎の「きまり」を見直し



「靴下はワンポイントで、色は白」
「なにがなんでも必ず制服で登校」
「男子は学ラン、女子はスカート」



「靴下を着用」
「気温等を考えて、各家庭で判断」
「人権を大切にし、多様性の尊重」

先日の生徒総会で、校則の中にある「ん？なんでそうな？」に答えられない項目や人権上「？」と感じるものについて見直しを図りました。

そして、全校生徒が主体的に考えて行動できるような指針、判断基準として3つの「学校の柱」が制定されました。

主体的な姿とは…

- (○) 私はこう考えるから、□□する。
- (×) 誰々が△△をやったから自分も△△する。
- (×) 誰々から××やるように言われたから××する。

* 3つの柱(判断基準)

- ・個性を認め合う
- ・自分の行動に責任を持つ
- ・周りの人のことを考えて行動する

この3つの柱を学校生活のありとあらゆる

場面において行動を決める、そして振り返るための判断基準としましょう。

* 行動には責任が伴う

みなさんの行動は、誰が責任を負うのか。それはみなさんと保護者であるお家の人です。なにか行動を起こす前に、プラスなことだけでなく、それに伴うリスクもお家の人と一緒に考えましょう。もちろん学校の先生との相談も大歓迎です。

変わらないもの → 法律 条例 規則

《保護者の皆様へ》急な大きな変更をお知らせできず、申し訳ありませんでした。校則の見直しについて、学校に問い合わせをいただいております。本項は、お子さんが「自分で考え自分で行動する」ことを目指しております。お家の方と共にお子さんを支えて参りますので、主旨をご理解いただき、ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

